

■一般撮影検査 X-ray Photograph

一般撮影検査とは？

一般撮影は通常の撮影室で行うものと、病棟にて行う(ポータブル撮影)の2通りがあります。

当センターでは撮影室及び病棟撮影共に FPD(フラットパネルディテクター)と言われる機器を導入しています。

FPD の特徴は従来の CR(Computed Radiography)装置と呼ばれるものと比べて画像が瞬時(X 線照射後 1~2 秒ほど)に確認することができ撮影時間の短縮が行えます。また、CR 装置と比較しても使用する放射線を少ない量で撮影でき低被ばく化が行えます。

来院される方へ(検査の流れ)

当センターの一般撮影室は 2 階にあります。

受付手順等はこちら



撮影室の紹介

当センターには一般撮影室が 6 室あります。それぞれに撮影部位によって分かれています。

E-3.4.5 室



(骨撮影)

G-7.8 室



(胸腹部撮影)

F-6 室



(口腔撮影)

E-3.4.5 室（骨撮影）

主に整形領域の骨の撮影を行っています。

すべての撮影室に立った状態で行う撮影台、寝た状態で行う撮影台、昇降台があるため一般撮影全般の撮影が可能です。撮影の際補助具等を使用することで、負担をかけないように撮影を行っています。



E-7.8 室（胸腹部撮影）

主に胸部撮影、腹部撮影を行っています。

G-7 室には立った状態で行う撮影台、寝た状態で行う撮影台があります。

G-8 室には立った状態で行う撮影台とお子さまを撮影する専用の器具（ファンティクサー）があります。（**小児撮影**）



FPD 装置: BENEON, CARNEO



E-6 室 (口腔撮影(パノラマ)・頭部規格撮影(セファロ)・頭部精密撮影装置)

主に歯の歯科断層撮影装置と頭部精密撮影装置、一般撮影装置の3装置があります。

歯科断層撮影装置:(Hyper-X CM)

歯全体の撮影(パノラマ撮影)、頭部の規格撮影(セファロ撮影)を撮影できる装置です(fig.2)。パノラマ撮影は歯医者でよく行う回転しながら撮影する検査です。これにより下図(fig.3)のような写真が得られます。



(fig.2)



(fig.3)

頭部規格撮影装置:(Hyper-X CM)

頭部規格撮影(セファロ撮影)では決まった距離、決まった角度、体勢で撮影を行うことで世界共通の規格写真を撮影するものです。(fig.4)

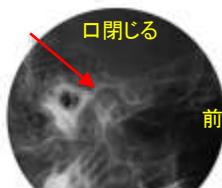


(fig.4)

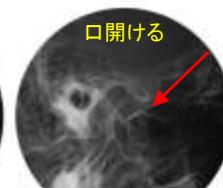
頭部精密撮影装置:(AS-D1)

聴器や顎関節などの撮影を体位を変えないで装置の方を動かすことで、あらゆる方向から撮影ができます。

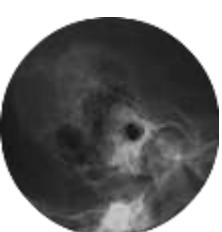
また、余分な部分に放射線を照射すること無く目的の部位のみの範囲で撮影できることも特徴です。



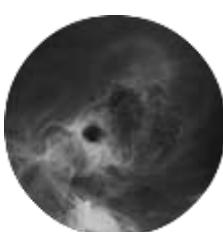
下顎骨の動き(右横から見る)



下顎骨頭の形状(眼窩の中から見る)



聴器: シュラー法



聴器: ステンバース法



■来院される方へ(撮影の流れ)

受付から撮影終了まで

- ① 2階放射線受付にて 番号札 と 撮影伝票ファイル を受け取る(番号札とは下図のような物です)



- ② それぞれの検査に対応するポストに 撮影伝票ファイルのみ を投函する(椅子に座ってお待ち下さい)



- ③ 番号札の色と数字で呼ばれます。(基本的に名前ではお呼びしません)



- ④ 撮影準備(撮影部位や服装によっては検査着等に更衣をお願いする場合があります)



- ⑤ 撮影部位及び氏名確認(撮影室内にて患者様ご本人からフルネームを伺います)



- ⑥ 撮影終了 氏名確認 放射線受付にある返却ポストに 撮影伝票ファイル(番号札入り) をそのまま返却



① 受付から撮影室までの流れ



現在の待ち

人数状況が

確認できます



放射線受付に一列にならび
診察券をお出し下さい



受付(氏名確認)



撮影伝票ファイルと番号札を
持って検査室に向かいます

② 各検査室ポストまでの案内



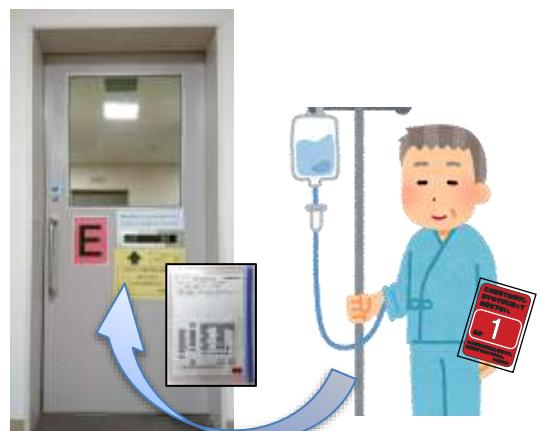
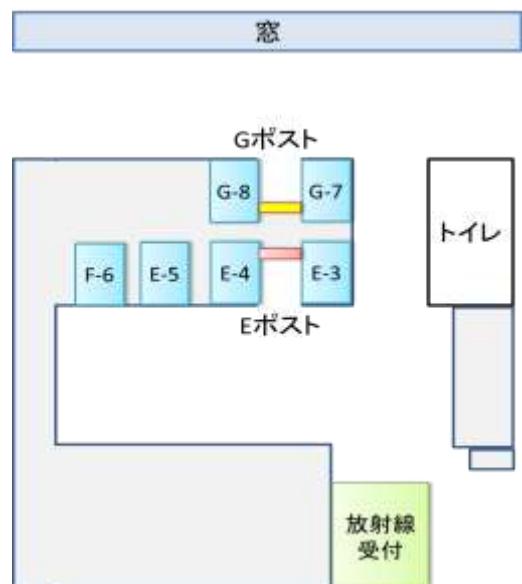
検査室 **E** へは受付より最初の角を左に曲がってください
検査室 **G** へは受付より突き当たり左手を曲がってください

E,G それぞれの検査室の扉にポストがあります。

撮影伝票ファイルだけをポストに入れ、

番号札は持ったままお待ちください。

(※番号札の番号は撮影順番とは関係ありません)



③ 番号札の色と数字の呼び出しについて

スタッフが右図のように呼び、案内します。



赤、〇〇番の
番号札をお持
ちの方おられ
ますか。

※呼び出しの際に、不在であった場合は次の患者様を案内する場合がございます。

再度、優先的に呼ばせていただきますので、ご協力よろしくお願いします。

※番号札の番号と呼ばれる順番は異なります。受付番号順に基本的に撮影を行ってお
りますが、場合によって順番が前後する場合がございますのでご了承ください。

撮影お待ちの患者様へ

撮影は受付の順番でお呼びしています。

(ポストに入れた順ではありません)

撮影部位によってお部屋を変更することがあります。

以下の場合、撮影の順番を調整させて頂いております。

- お呼びしたときに席をはずしている時
(次の撮影室が空きましたらもう一度お呼びします)
- 撮影室・更衣室の使用状況によって
(更衣の有無やお子様の年齢など)
- 急患・重症度によって

ご迷惑をおかけする場合もありますがご協力お願い致します

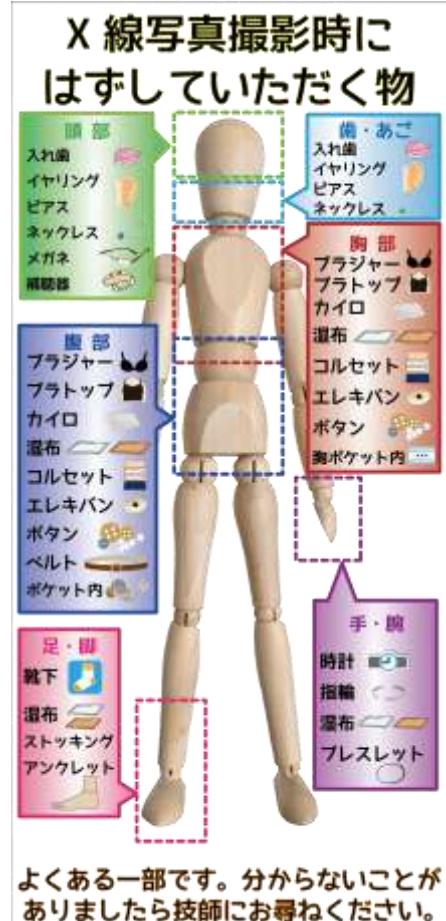
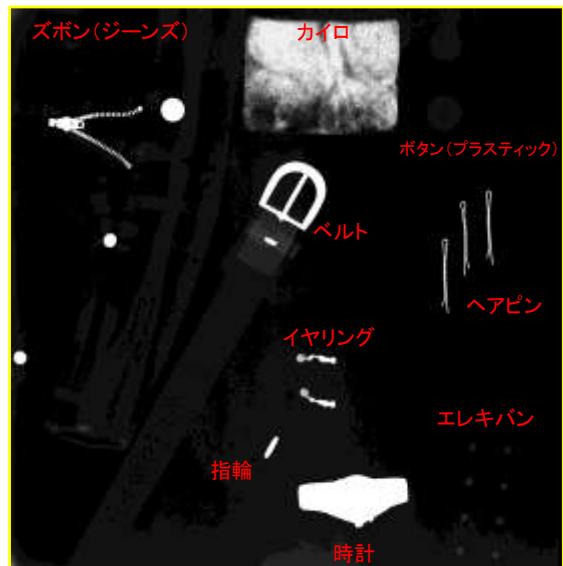
中央放射線部



④ 撮影準備

・更衣

更衣は撮影する部位によって異なります。胸のあたりの撮影では無地で薄めの肌着・Tシャツなどが好ましいです。お腹あたりの撮影ではズボンや厚手のものは更衣が必要となります。お持ちでない場合は当院の検査着に着替えて頂きます。また、湿布やピップエレキバンなどは写真に写るので外していただくようにお願いします。



よくある一部です。分からぬことがありますたら技師にお尋ねください。

※画像に写り、診断の妨げになるもの(例)

ヘアピン・ピアス・眼鏡・入れ歯・ネックレス・指輪・腕時計・カイロ・

ピップエレキバン・ボタン・厚手のゴム・湿布・ファスナー

ベルト・鍵・服のプリント・補聴器

⑤ 氏名確認・撮影

・氏名確認

撮影室内で番号札を撮影技師に渡して下さい。

ご本人にフルネームで氏名を名乗っていただきます。(患者さま間違い防止のため、ご協力お願い致します)

・所要時間

撮影時間は約 5 分～20 分ほどですが、検査部位によってはそれ以上の時間がかかることがあります。

・ご注意

※撮影には様々な撮影台への移動を協力して頂きます。位置を確認するため体に触れることや、息止めをお願いすることがございますが、その際はお声掛けします。

なるべく負担が少なくスムーズに検査を行えるよう、患者様の状態に合わせて臨機応変に対応させて頂きます。

撮影時に無理な体勢がある際、遠慮なく申し出て下さい。依頼医に相談し、診断に影響がない範囲で患者様と協力しながら撮影させて頂きます。



・お子様の撮影にあたってのお願い

当センターでは乳幼児の一般 X 線撮影も多く行っています。撮影について、お子さまの状態によってどのように撮影するのが適しているか、検査時に説明をさせて頂きます。

※立つのが難しい小さなお子さまには安全に検査を行うため専用補助器具(ファンティクサー)を用いて撮影を行っています。

※じっとすることが難しいお子さまの場合、動いた状態で撮影すると写真にブレが生じてしまい、診断に有用ではない写真となる恐れがあります。そのため、複数人の技師または親御さんの協力のもと押さえ撮影させて頂く場合がございます。



撮影補助具

⑥ 放射線受付に撮影伝票ファイルを返却

検査終了後にスタッフが、番号札をいれた撮影伝票ファイルをお渡しますので、放射線受付に設置している返却ポストの箱に撮影伝票ファイルを返却してください。



■病室撮影(ポータブル撮影)

病棟、手術室、救命救急室等にて、撮影室への移動が困難な患者様を対象にベッド上で撮影します。

当院では撮影直後にレントゲン画像をパソコンに表示できる FPD(フラットパネルディテクター)を導入しているため、その場ですぐに画像の確認が行えます。

【装置紹介】

全 9 台

CALNEO Go PLUS 3 台

Mobile Art Evolution 3 台

Sirius Star Mobile 2 台

IMC-125 Invertar Mobile X-ray Equipment 1 台

